

平成30年度第2回京丹波町地域包括ケア推進委員会及び第1回京丹波町地域包括支援センター運営協議会並びに第1回京丹波町地域密着型サービス運営委員会 議事概要

日時：平成30年11月19日（月）13時30分～15時30分

場所：瑞穂保健福祉センター2階 集団指導室・健康学習室

出席委員：19名

欠席委員：無し

1. 開会

2. 委員長あいさつ

皆さん、ご苦労様です。新しい体制となったが、よろしくお願ひしたい。

今年是非常に台風が多く、避難による徹夜が多かった。

本庄区の場合は、はじめは自主避難者が2～3人であったのが、最後の方は13人まで増えた。特にひとり暮らしの方は、不安な中で過ごされていることから、話し相手ができ、喜んでおられ、避難することは正解であると感じた。本庄区では、自主防災として、行政の発令より、1時間ほど早く避難してもらい、また、夜や明け方に台風が来る場合は、迎えに行く側が困らないように、前日など、明るい時間帯に避難してもらうようにしている。

地域によっては大きな災害があり、今回の災害では色々な経験をさせてもらった。そういう意味では、当委員会の中でも、高齢者の方や障がいのある方など、弱い立場の方が、災害時にも安心できる町として、「福祉」が地域の中で、また、人々の心の中で、安心できる大きな要因になればいいのではないかと思われる。皆様方には、良い意見を出していただき、良い会議となるよう、よろしくお願ひしたい。

3. 協議事項

協 議 経 過	
発言者	発言内容
事務局	<p>(1) 第2回京丹波町地域包括ケア推進委員会</p> <p>協議事項①第7期介護保険事業計画の進捗状況について 資料1</p> <p>※平成30年度上半期の主な介護サービスと介護予防・日常生活支援総合事業の利用実績及び計画の達成率等について報告</p>
事務局	<p>協議事項②介護保険事業等に係る意見交換等の結果について 資料2</p> <p>※平成30年10月に実施した町内介護サービス提供事業所との意見交換等の結果について報告</p>
委員	<p>資料2の2ページの6番、今後の事業展開等に、課題が多く出されているが、何十年前から起こりうる課題が新たに書かれている。介護サービスの事業運営を何十年も同じ場所でされている場合の課題など、行政はどうキャッチしているのか。丹波高原荘は、町が協力され、旧高原小学校跡地に施設を整備された。他の施設も頑張っている。そういった建物や職員確保の問題について町としても認識を持ち、丹波高原荘のような援助を考える必要があるのではないか。職員の問題は全国的な課題であり、解決策の答えは出ないが、若い人も働いてくれるよう、行政がこのような施設のことに積極的に関わりを持つことが必要でないか。</p>
事務局	<p>丹波高原荘は町有地を活用いただいているが、施設整備については、国及び京都府の補助金を活用いただいております。町単独の補助金の支出は無い。(福)山彦会においても同様である。町が補助を行う場合には、財源の確保が無い場合には困難なため、ご理解をいただければと考える。</p>
委員	<p>委員長の挨拶にもあったが、資料2の要望事項等にある福祉避難所のあり方について、今、福祉避難所はあるのか。台風時に、体の不自由な方が朝まで避難されたが、ベッドが無く、トイレも不自由なため、次の災害時には、土砂災害の危険度が高いながらも、自宅で過ごされた。この場で対応を考えていただけないか。</p>
事務局	<p>現在、福祉避難所は、町と5つの法人の6施設と協定を結んでいる。本日出席の特別養護老人ホームと丹波笠次病院、障がい者支援施設の丹波桜梅園である。身体等の状況が、通常の避難生活では困難な要援護者を対象に位置付けている。</p> <p>地域の一般避難所に福祉スペースがあれば良いが、なかなか配備が難しく、特にトイレ等の問題があり、すぐに対応することは難しいが、今年度、福祉避難所の利用件数も増えており、町としても、できるだけ早く避難準備情報を発令しているところであるが、今後内部でも検討していきたい。</p>

委員	<p>また、一般避難所についても、区長さん等に開放いただいているが、意思統一を図るためにも、区長、消防団、民生児童委員に集まっていただき意見交換を行う予定である。現時点で結論は出ないが、現在の状況は以上のようなことである。</p> <p>福祉避難所の利用については、どこへ連絡すればよいか。支所でもよいか。</p>
事務局	<p>避難準備情報発令前から町も警戒本部を設置している。保健福祉課も待機しているため、保健福祉課へ連絡いただき、ご相談させていただきたい。</p>
委員	<p>今年度から施設長となり、福祉避難所のことが理解できていなかった。開設の依頼を受け、地域交流室にベッド等運び、一般の方の受入の準備をしていたが、福祉避難所は緊急のショートステイの扱いとなることを改めて認識した。</p> <p>今後、丹波高原荘としては、軽度の認知症等により、一般避難所への避難が困難な方についても、専門的な機関として、空きスペースである地域交流室で受入をしていこうと考えている。キャパが10人程度であり、広く広報するかについては検討が必要である。</p> <p>また、災害は、福祉の分野と総務課の危機管理の分野があり、問い合わせ先を明確にしてもらいたい。</p>
事務局	<p>これまでは、緊急的なショートステイの対応を依頼することが多かったが、高齢者等以外にも、乳幼児や妊産婦の方等についても、国指針において対応が求められている。改めて検討し、今後、意見等を伺う機会もあるかと思われるが、その際にはよろしくお願ひしたい。</p>
委員	<p>一般避難者の利用が困難な場合にどこへ相談したらよいか。民生児童委員か。一般住民には知られていない。</p> <p>私自身は、三ノ宮まで避難することになるが、行くまでに川に流されると思われる。適切な避難所を設定してほしい。</p> <p>また、福祉避難所があるということを、必要な人へどのように情報提供されているか。行政は、一般住民に対し、わかりやすい広報を行うべきでないか。</p>
委員長	<p>現時点では、福祉避難所をはじめ、災害時の対応について、検討すべき時期にきているのではないかと。個人差もあるため、その対応について、行政でも検討いただき、また、地域の中でも検討いただきたい。</p>

事務局	<p>(2) 第1回京丹波町地域包括支援センター運営協議会</p> <p>・地域包括支援センターの現況（取組み経過）等について 資料3</p> <p>※介護予防支援等の契約状況及び平成29年度の取組状況について報告</p>
委員	<p>2ページの認知症等徘徊SOSネットワーク事業の認知症等位置情報検索システム利用助成は利用件数0件であるが、GPSのことか。携帯を使用するコードのことか。</p>
事務局	<p>GPSを利用されることが多い。靴やベルト、携帯にGPSを仕掛けて位置を感知するもので、家庭での設置時に、5千円を限度として助成するものである。</p> <p>また、SOSのネットワークに登録された方には、携帯をかざせばQRコードを読み取り、包括の連絡先が表示されるというシールを持ち物に貼っていただいている。</p>
委員	<p>老人クラブ連合会から選出いただいているが、老人クラブの一番の問題が、年々脱退があることである。その一番の要因が、役員をすることにある。</p> <p>本日の議題も高齢者のことが中心であるが、地域の中心になってほしいなど、老人クラブに対する町の要望があればお聞きしたい。老人クラブも、もう一度活性化を図りたい。</p>
事務局	<p>老人クラブの会員数の減少については、町としても認識しているところである。老人クラブにおいては、社会福祉協議会を中心に取り組んでもらっている見守りネットワークの協力機関としても登録いただいている。地域に精通いただいております。見守りや若い世代への継承をお願いしたい。</p> <p>また、老人クラブより何かあれば相談させていただきたい。</p>
委員	<p>振興会の会長も担っており、老人クラブとの関わりもあるが、老人クラブの方は元気で知恵もあるため、その知恵を活用しない手は無いと考えている。グランド整備には70人くらい出役いただいている。振興会でも検討するが、町としても、老人クラブの活躍の場を検討させていただきたい。</p>
事務局	<p>シルバー人材センターの理事長にも出席いただいているが、色々な技術をお持ちの方が多いため、その技術を生かしていただくよう勧めさせていただきたい。身近なことで無理をせずしていただけることで、見守り等はしていただいているが、良い案があれば教えてさせていただきたい。</p>
委員長	<p>役は個人に来るため敬遠されると思われる。少子高齢化でありながら役は同じようにある。地域にあったやり方を投げかければいいのではないかと。</p>

事務局	<p>(3) 第1回京丹波町地域密着型サービス運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスの現況報告について説明 資料4 <p>※現時点での地域密着型サービスの指定状況等について (平成29年度開催の運営委員会以降変更無し。また、新規指定等該当無し)</p>
委員	<p>以前にも申し上げた移送サービスについてであるが、車の運転について様々な取組があり、京都府警でも認知症等の勉強をされ、相談を受けることが多い。</p> <p>この地域で、自分で運転ができなくなった方について、町としてどういうふうにしていくかということは重要課題である。事業所に委託されている移送サービスだけでは、とても対応としては足りない。家で暮らすということが難しくなってくるということが目の前に来ている。町として、重点的に、どうするかという将来の見通しを立てた対策をお願いしたい。要望として申し上げる。</p>
事務局	<p>本日は回答までできないが、担当課と調整したい。</p> <p>また、最近、高齢者の免許切り替え時に認知検査が取り入れられているが、課題がある場合等に、警察から連絡が入る仕組み等の協力要請がある。近所に、心配な方があれば、どこまで対応できるかは別として、包括等に相談いただきたい。</p>
事務局	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回委員会について <p>3月下旬を目途に年明けに調整し連絡させていただく。</p>
委員	<p>役の交代が大きな課題として上げられたが、自分自身は、女性の会の代表としてこの委員会に参加することで介護の分野について知ることができ、会の活動においても役に立った。女性の会でも、役員の成り手の問題があるが、この役を担わせていただくことで勉強ができ役に立っているということについて、一言お礼を言いたいと思い発言した。</p>

4. 閉会（副委員長あいさつ）

計画の進捗状況等の協議であったように、従来からの課題もあり、安定的なサービスを提供すべきであるが、運営が難しい状況にもなっていることを私自身も感じている。事業所が安定的なサービス提供を図るには、色々な立場の団体からの協力も必要であるということが、計画の中ではうたわれている。先ほど、委員が言われたように、一番大切なのは、自分がその団体に所属することにどんな価値があるのか、それぞれ一人一人が認識できる団体にしていく必要があると思われる。

個々の価値観が多様化する現在、皆が同じ方向を向くということが、今回の災害時の避難ということだったのではないかと。災害を皆が重大なことであると認識し、同じ方向へ向けたと思われる。そういったことから、それぞれの立場の中で、自分たちがこの京丹波町で暮らし続けるということ、自分の価値観としてとらまえることが大事ではないかと。

本日は全員参加となった、次回もよろしくをお願いしたい。